

報告第1号 「水戸市農業基本計画（第4次）」の進捗状況について

1 評価の対象年度 平成27年度

2 事業の実施状況

基本方針	基本施策	施策の展開	主な取り組み		H27実施状況		
			項目数	具体的内容数	実施数	着手率	
産業として成り立つ農業の確立	1 農業従事者の確保に向けた取組の推進	1-1 多様な担い手の確保・育成	4	13	10	77%	
		2-1 優良農地の確保、耕作放棄地対策	3	6	6	100%	
	2 経営の効率化、規模拡大に向けた取組の推進	2-2 生産基盤の整備	4	10	8	80%	
		2-3 農業生産施設・機械等の整備	5	5	4	80%	
		3-1 6次産業化の推進	5	10	7	70%	
	3 所得の向上、経営の安定に向けた取組の推進	3-2 農産物のブランド化の推進	3	7	7	100%	
		3-3 農業経営の安定化	5	11	11	100%	
		4 良質な農産物の生産の促進	4-1 産地の育成	1	7	6	86%
	4-2 環境保全型農業の推進		3	5	3	60%	
	4-3 先進技術の利活用の推進		2	4	2	50%	
	市民の暮らしを支える農業の推進	5 農産物の消費拡大に向けた取組の推進	5-1 地産地消の推進	3	13	10	77%
			5-2 農産物の安全と信頼の確保	2	5	4	80%
6 農村地域における生活環境の向上		6-1 生活環境の向上	1	2	1	50%	
		6-2 農村景観・自然環境の保全	1	1	1	100%	
		6-3 農村コミュニティの維持	2	2	2	100%	
7 都市と農村の交流促進		7-1 交流人口の増加	8	14	12	86%	
		7-2 食育の推進	5	11	8	73%	
合計			57	126	102	81%	

### 3 基本施策の進捗状況について

#### 基本施策1 農業従事者の確保に向けた取組の推進

##### (1) 目標指標の達成状況

項目	現状値 (H25)	実績 (H27)	目標値	
			(H31)	(H35)
新規就農者数 (延べ人数)	5名/年 (-)	6名/年 (6) ↑	10名/年 (50)	10名/年 (90)
認定農業者数	184	216 ↑	220	250
農業ヘルパー登録者数	30	44 ↑	35	35

##### (2) 主な取り組みの実施状況と評価

項目	取り組みの内容, 及び平成27年度の実施状況	決算額	評価
1-1 多様な担い手の確保・育成			
(1)新規就農者の確保・育成	①国・県・市の助成制度による支援 ・青年就農給付金 18人(うち新規3人) ・就農スタートアップ支援事業 1名	6,575	○
	②市内農業教育機関との連携 ・鯉淵学園における就農相談 1回	-	△
	③市内の先進農家等との連携による研修の推進	-	未
	④就農希望者募集イベントへの参加 ・新・農業人フェアにおけるPR 2回	-	△
	⑤農地の斡旋	-	未
	⑥県・JA水戸等と連携した営農指導の実施	-	○
(2)個別経営者等の育成	①認定農業者の確保・育成 ・経営改善支援センター(農業公社) 認定農業者新規認定 16件 ・認定農業者会の支援 研修会 6回, 会報 年2回	320	◎
	②後継者クラブの活動支援	160	○
	③農業ヘルパー制度の推進 ・実技研修会の開催(年間12回) ・市の広報などによる周知活動	150	◎

項目	取り組みの内容, 及び平成27年度の実施状況	決算額	評価	
(3)組織経営体の育成	①集落営農組織の設立促進	-	未	農業専門学校の卒業生等は, 農業法人への雇用就農を希望する者が多く, 今後一層の推進が必要。
	②集落営農組織の法人化推進 ・法人化を予定していた1組織の計画が中止に	-	△	
	③農業生産法人の設立促進 ・1法人設立	-	○	
(4)農村女性の能力の積極的な活用	家族経営協定締結促進 1件	-	○	制度に基づき推進。

凡例	◎:当初計画以上に進捗した ○:概ね当初計画どおり進捗した △:当初計画より遅れている 未:未着手 完:事業完了
----	--

## 基本施策2 経営の効率化, 規模拡大に向けた取組の推進

### (1) 目標指標の達成状況

項目	現状値 (H25)	実績 (H27)	目標値	
			(H31)	(H35)
田の経営耕地面積15ha以上の経営体数	5	5 →	10	15
耕地面積に占める集積面積(ha)(率)	1,024 (14.6%)	1,304 (18.6%) ↗	1,811 (25.8%)	3,505 (50%)
荒廃農地面積(ha)	94	102 ↘	92	90
ほ場整備地区数	5	5 →	10	10
計画面積 田(ha)	332	332 →	544	856
計画面積 畑(ha)	—	— →	201	311
生産施設, 機械等の整備件数	—	7 ↗	10	18

### (2) 主な取り組みの実施状況と評価

項目	取り組みの内容, 及び平成27年度の実施状況	決算額	評価	
2-1 優良農地の確保, 耕作放棄地対策				
(1) 優良農地の維持・保全	農業振興地域整備計画に基づく適正管理 ・農振農用地区域面積 4,579ha	—	○	制度に基づき実施
(2) 農地の流動化促進	① 農用地利用集積計画の推進 ・大規模水田農業規模拡大事業 26.6ha	2,644	◎	国および市独自の制度により, 農地の集積が進んだ。
	② 農地中間管理事業の推進 ・貸借面積 58.9ha	20,260	◎	
	③ 農地利用集積円滑化事業の推進 ・売買等事業 2.3ha	—	○	
(3) 耕作放棄地対策	① 農地パトロールの実施, 利用意向調査等	1,636	○	改善に向け取組は実施しているが, 増加傾向が見られる。
	② 耕作放棄地再生利用緊急対策事業 478a	2,390	○	

項目	取り組みの内容, 及び平成27年度の実施状況	決算額	評価
2-2生産基盤等の整備			
(1)国営緊急農地再編整備事業	茨城中部地区 ・担い手農地利用集積計画書作成	8,128	○ H28年度採択となった。
(2)県営畑地帯総合整備事業	①飯富岩根地区	6,702	○ 概ね計画通り。
	②柳河地区	18,070	
(3)県営ほ場整備事業の推進	内原地区	-	未
(4)農業用水・排水・道路の整備	①国営那珂川沿岸農業水利事業	51,072	△
	②県営湛水防除事業	2,000	△
	③排水路整備	44,986	○
	④ため池整備	46,399	○
	⑤むらづくり総合整備事業	41,971	○
	⑥農道整備	-	未
2-3農業生産施設・機械等の整備支援			
(1)経営体育成支援事業	件数 6件 (乗用田植え機等農業機械, パイプハウス)	7,897	◎ 要望件数が増加している。
(2)園芸産地改革支援事業	件数 1件 (リーフレタス用養液栽培プラント)	2,116	○ 計画通り実施した。
(3)米・麦共同乾燥調整施設の整備促進	共同乾燥調整施設の設置	-	未 国の採択が得られず1年遅れることとなった。
(4)農業機械リース事業	共同利用機械の利用促進	-	○ 概ね計画通り。
(5)資金面の支援	利子助成 ・助成対象者 14名	2,591	○ 制度に基づき実施。

凡例 ◎:当初計画以上に進捗した  
○:概ね当初計画どおり進捗した  
△:当初計画より遅れている  
未:未着手  
完:事業完了

### 基本施策3 所得の向上、経営の安定に向けた取組の推進

#### (1) 目標指標の達成状況

項目	現状値 (H25)	実績 (H27)	目標値	
			(H31)	(H35)
6次産業化に取り組んでいる農業経営体の割合(%)	16.6	16.6 →	25.8	34.3
農産物直売所数	9	9 →	12	16
ジョイント栽培による梅の生産量(t)	—	0.3 ↑	29	31
転作作物の作付面積(ha)	590	752.6 ↑	640	680
病害虫共同防除面積(ha)	1,650	1,569 ↓	1,900	2,000
イノシシによる農産物被害金額(千円)	8,746	1,214 ↑	8,000	7,000

#### (2) 主な取り組みの実施状況と評価

項目	取り組みの内容、及び平成27年度の実施状況	決算額	評価	
3-1 6次産業化の推進				
(1) 農畜産物加工品の開発、販売拡大の支援	①商品開発、販売拡大に向けた取組の支援 ・ゴマ色彩選別機の整備支援及び販売促進 ・青パパイヤ加工機械整備及び販売促進	1,628	○	概ね計画どおり
	②農業者と商工業者の連携強化	-	○	
(2) 農産物加工施設及び直売所の整備・促進	①総合的農産物販売施設	-	未	小規模施設については、整備が進んだ。
	②観光果樹を活用した加工・販売施設	-	未	
	③小規模農産物加工・販売施設 ・青パパイヤ加工施設 1箇所	-	○	
	④内原「かたくり市」の活用促進、機能強化	-	△	
(3) 米加工品の推進	米粉の利用促進 ・水戸市穀物改良協会の活動支援 ・麺類(フォー)の商品開発支援	141	◎	新たな取り組みの芽が出た。
(4) 農畜産物の輸出促進	ジェトロと連携した情報提供等	-	未	
(5) 梅産地づくりの推進	①新栽培技術による梅の生産推進 ・ジョイント栽培の普及拡大(23a) ・梅の初出荷(300kg)	1,818	◎	新規の生産者及び加工業者が増えた。
	②梅産地づくり協議会を通じた推進 ・梅を用いた梅菓子の販売(9社、12商品)			

項目	取り組みの内容, 及び平成27年度の実施状況	決算額	評価
3-2 農産物のブランド化の推進			
(1)高品質化, 差別化によるブランド化の推進	①農畜産物の差別化の推進 ・「梅」, 「柔甘ねぎ(軟白ネギ)」, 「水戸っ穂 風彩常澄(米)」, 「パプリカ, 干しいも, 本格芋焼酎」, 「水戸胡麻」, 「青パパイヤ」等の推進	-	○
	②商工業者との連携	-	○
	③県と連携した「常陸牛」, 「ローズポーク」の消費拡大 ・県畜産協会を通じての推進 ・牛枝肉共励会の支援	272	○
(2)PR活動の強化	①販路拡大に向けた商工業者との連携	-	○
	②各種メディアを利用した商品PR ・本格芋焼酎(「一人笑・二人笑・三人笑」, 「華むら咲」)の販売促進	-	○
(5)梅産地づくりの推進(再掲)	①新栽培技術による梅の生産推進 ・ジョイント栽培の普及拡大(23a) ・梅の初出荷(300kg)	1,818	◎
	②梅産地づくり協議会を通じた推進 ・梅を用いた梅菓子の販売(9社, 12商品)		
3-3 農業経営の安定化			
(1)安定経営への支援	①経営所得安定対策の推進 ・経営所得安定対策加入者 947名 ・ナラシ対策加入者 109名	67,323	○
	②需要に応じた計画的な米作りの推進 ・食用米作付率 122%		△
	③転作作物の生産振興 ・転作面積 660.7ha		◎
	④農業災害補償制度の啓発, 加入促進 ・事務組合事務負担	-	○
	⑤野菜価格安定対策事業の推進 ・6団体, 22品目	821	○
(2)病害虫対策事業	①水稻, 麦, 大豆の共同防除の支援 ・防除面積 1,561.5ha	4,807	○
	②黄化萎縮病対策事業の支援		○
(3)有害鳥獣対策	イノシシによる農作物被害防止対策 ・イノシシ捕獲 73頭(捕獲隊62頭, 個人11頭) ・電気防護柵設置補助件数 1件	2,514	○
(4)畜産関連対策	①消臭等環境整備対策の推進 ・畜産環境整備対策の支援(29件) ・水戸市畜産組合連合会による推進	4,700	○
	②家畜防疫対策の推進 ・水戸市家畜衛生指導協議会を通じて推進	-	○
(5)資金面の支援(再掲)	利子助成 ・助成対象者 14名	2,591	○

凡例 ◎: 当初計画以上に進捗した  
○: 概ね当初計画どおり進捗した  
△: 当初計画より遅れている  
未: 未着手  
完: 事業完了

## 基本施策 4 良質な農畜産物の生産の促進

### (1) 目標指標の達成状況

項目	現状値 (H25)	実績 (H27)	目標値	
			(H31)	(H35)
果樹生産法人数	—	0 →	1	2
エコファーマーの販売農家に占める割合(%)	7.0	6.4 ↓	10.1	10.4
特別栽培農産物件数	83	81 ↓	86	90
優良種苗提供品目数	4	4 →	5	6

### (2) 主な取り組みの実施状況と評価

項目	取り組みの内容, 及び平成27年度の実施状況	決算額		評価
4-1産地の育成				
(1)生産組織の育成	①JA水戸各生産部会の活動支援	-	○	概ね計画どおり。
	②水戸市そ菜園芸出荷団体連絡協議会の活動支援	-	○	
	③水戸果樹園芸組合連絡協議会の活動支援	-	○	
	④果樹産地における生産法人化の推進	-	未	
	⑤水戸の梅産地づくり協議会の活動支援	-	○	
	⑥内原地区農業経営研究会の活動支援	130	○	
	⑦水戸市畜産組合連合会の活動支援	-	○	
4-2環境保全型農業の推進				
(1)日本型直接支払制度(環境保全型農業直接支払)の推進	環境保全型農業に取り組む農業者への支援 ・環境保全型農業支援事業 支援団体 1団体(有機農業)	141	○	計画通り実施。
(2)エコファーマー・特別栽培農産物・有機農業の推進	取組農家の拡大推進 ・エコファーマー認定者数 165名 ・特別栽培農産物件数 81件		△	認定に見合うメリットが少なく, 減少した。
(3)堆肥の利用促進	①水田における耕畜連携の推進 ・取組面積 68ha		○	WCSの取り組みが拡大し, 耕畜連携も微増。
	②堆肥情報の提供	-	未	
	③家畜排せつ物処理施設整備の検討	-	未	



項目	取り組みの内容, 及び平成27年度の実施状況	決算額	評価	
4-3 先進技術の利活用の推進				
(1) 優良種苗の供給	優良種苗の供給 ・かんしょウイルスフリー苗の提供 ・坊主不知ネギ, モロヘイヤ, パパイヤの種苗供給	510	○	概ね計画どおり。
(2) 先進技術導入の促進	① 情報収集	-	○	先進技術サミットにて情報収集。
	② 植物工場の導入検討	-	未	
	③ リモートセンシングの導入検討	-	未	

凡例	◎: 当初計画以上に進捗した ○: 概ね当初計画どおり進捗した △: 当初計画より遅れている 未: 未着手 完: 事業完了
----	---

## 基本施策5 農畜産物の消費拡大に向けた取組の推進

### (1) 目標指標の達成状況

項目	現状値 (H25)	実績 (H27)		目標値	
				(H31)	(H35)
学校給食における地場産物の使用割合(%)	42.1	50.3	↑	47	50
地場農産物登録店舗「水戸美味」数	33	43	↑	100	150
農産物直売所数	9	9	→	12	16
茨城県GAP規範に取り組む経営対数	19	21	↑	40	60

### (2) 主な取り組みの実施状況と評価

#### 基本施策5 農畜産物の消費拡大に向けた取組の推進

項目	取り組みの内容, 及び平成27年度の実施状況	決算額	評価
5-1 地産地消の推進			
(1)学校給食における地場農産物の利用拡大	①地産地消に関する啓発(食育の推進)	-	○
	②地場農産物利用拡大の仕組みの構築 ・教育委員会・JA・卸売業者等との協議	-	○
	③給食用加工品開発 ・学校教育課と「みとちゃんごぼうメンチカツ」を開発	-	○
	④地場農産物利用献立の実施 ・11月「茨城をたべようウィーク」に市立小・中学校全校で取り組み	-	◎
	⑤米飯給食の推進	-	○
	⑥給食だよりの発行 (学校教育課が実施)	-	未
(2)飲食店等における地場農畜産物の利用拡大	①地場農産物の販売促進 ・農産物直売所のPR(広報みとにて記事掲載)	-	○
	②地場農産物利用飲食店(水戸美味)の推進 ・登録店 43店舗	36	○
	③地産地消に関する啓発 ・広報みとにて農産物直売所の記事掲載	-	○
(3)農産物加工施設及び直売所の整備促進(再掲)	①総合的農産物販売施設	-	未
	②観光果樹を活用した加工・販売施設	-	未
	③小規模農産物加工・販売施設 ・青パパイヤ加工施設 1箇所	-	○
	④農産加工センター「かたくり市」の活用促進, 機能強化	-	△
			概ね計画どおり実施し、地場農産物の使用割合はH35の目標値を上回った。
			計画どおり実施し、「水戸美味」登録店舗数が増加した。
			小規模施設については、整備が進んだ。

項目	取り組みの内容, 及び平成27年度の実施状況	決算額	評価	
5-2 農畜産物の安全と信頼の確保				
(1)安全・安心の推進	①農畜産物の放射性物質検査の実施	1,734	○	計画どおり実施。
	②生産者団体が取り組むPR活動の支援(原発事故風評被害対策)	1,000	○	
	③生産者団体の取り組み支援 ・JA水戸の生産組織の取り組み支援	800	○	
(2)GAPの推進	①各生産組織のGAP取得の推進	-	○	生産組織が実施する 研修会等を支援。
	②GAPに関する消費者へのPR	-	未	

凡例	◎: 当初計画以上に進捗した ○: 概ね当初計画どおり進捗した △: 当初計画より遅れている 未: 未着手 完: 事業完了
----	---

## 基本施策6 農村地域における生活環境の向上

### (1) 目標指標の達成状況

項目	現状値 (H25)	実績 (H27)	目標値	
			(H31)	(H35)
農業集落排水処理施設の機能強化対策地区数(実施率%)	—	1 (10%) ↑	3 (30%)	6 (60%)
多面的機能支払に取り組む活動面積(ha)	1,521	1,957 ↑	1,700	1,850
農村生活研究グループ活動の延べ参加者数	68	59 ↓	100	120

### (2) 主な取り組みの実施状況と評価

項目	取り組みの内容、及び平成27年度の実施状況	決算額	評価	
6-1 生活環境の向上				
集落排水事業	①長寿命化対策 ・国補第1号宿根古屋地区施設改修調査 ・市単第2号金谷地区管路施設設計	8,624	○	事業計画通り進行している。
	②農村地域における汚水処理方式の検討	-	未	
6-2 農村景観・自然環境の保全				
日本型直接支払制度(多面的機能支払)の推進	農業の多面的機能維持のための活動支援 ・活動組織数 46組織 ・面積 1957ha(田1781ha, 畑174ha, 草地2ha)	92,557	◎	活動組織が増加し、取組面積は、H35の目標値を上回った。
6-3 農村コミュニティの維持				
(1)農村生活研究グループ連絡協議会の活動支援	イベントでの農産物の直売、視察研修会などの推進	-	△	計画通り実施したが、目標指数は減少した。
(2)集落センター等連絡協議会の活動支援	講演会、視察研究会などの推進	-	○	概ね計画どおり。

凡例  
◎:当初計画以上に進捗した  
○:概ね当初計画どおり進捗した  
△:当初計画より遅れている  
未:未着手  
完:事業完了

## 基本施策7 都市と農村の交流促進

### (1) 目標指標の達成状況

項目	現状値 (H25)	実績 (H27)	目標値	
			(H31)	(H35)
森林公園来園者数(人)	16万	17.8万 ↑	18万	20万
アグリメイトいきいき農業体験 事業取り組み学校数(割合)	14 (29%)	15 ↑	19 (39%)	24 (49%)

### (2) 主な取り組みの実施状況と評価

項目	取り組みの内容, 及び平成27年度の実施状況	決算額	評価
7-1 交流人口の増加			
(1)直売所等の整備・機能強化(再掲)	①総合的農産物販売施設 1カ所	-	未
	②農産加工センター「かたくり市」の活用推進, 機能強化	-	△
(2)交流イベントの開催支援	産業祭(農業祭)の開催支援	1,650	△
(3)市民農園の推進	①ふるさと農場の利用促進 ・農場の管理運営	10,701	○
	②市民農園(特定農地貸付)の活用の促進	-	○
(4)観光果樹等を活用した魅力発信交流拠点の整備	①農産加工販売施設の整備(再掲)		未
	②体験プログラム, 観光果樹の情報発信 ・市報, ホームページ, ちらし等	-	○
	③体験プログラム, 観光果樹を活用した体験型観光の推進	-	○
(5)森林公園周辺における自然資源等を活用した魅力づくりの推進	①山根地区住民との連携イベントの開催 ・19回/年	2,272	○
	②森林公園における体験プログラムの充実 ・森林公園イベント 46回/		
(6)果樹園の維持	果樹園の維持と後継者育成の推進 ・経営継承を希望する農家の支援	-	△
(7)森林公園再整備事業	①学官連携による来園者ニーズの把握等 ・常磐大学と連携事業を実施	-	○
	②再整備の実施 ・再整備計画の策定の準備作業を行った	-	○
(8)観光農業の推進	観光果樹等の生産振興, 情報発信 ・観光果樹のチラシ配布	-	○

項目	取り組みの内容, 及び平成27年度の実施状況	決算額		評価
7-2 食育の推進				
(1)食の大切さを伝える体験活動の推進	①料理教室の開催 ・公設卸売市場会場 3回	59	○	概ね計画どおり。
	②市場見学会の実施 ・13回	186	○	
	③市場に消費者が来場するイベントの開催 ・みとつぼわくわく感謝市 1回	1,382	○	
(2)郷土料理・伝統料理の伝承	学校給食献立の実施と関連指導	-	未	学校教育課が実施。
(3)農業体験の推進	①小中学校におけるアグリメイトいざいき農業体験事業の支援 ・実施校:15小学校	480	○	ふるさと農場において食育効果の高い教育ファームの取り組みを始めた。
	②ふるさと農場における農業体験の実施 ・掘り取り体験(じゃがいも) ・教育ファーム(さつまいも)	-	◎	
	③農業技術センターにおける収穫体験の実施 ・年2回		○	
	④市内の各種農業体験の情報発信 ・市報, HPIにより実施	-	○	
(4)日本型食生活の推進	①米飯給食の推進(再掲)	-	○	米消費拡大と合わせた推進が必要。
	②給食だよりの発行(再掲)	-	未	
(5)健康的な食生活の実践, 食文化の継承	健康のための食事, 伝統的な行事食の調理実習, 試食		未	

凡例 ◎:当初計画以上に進捗した  
○:概ね当初計画どおり進捗した  
△:当初計画より遅れている  
未:未着手  
完:事業完了